

人材育成委員会

4月15日
本部会議室
出席委員12人

福岡でも今秋「3日開催」

女性活躍推進フォーラム東京は「5日」

16年度事業の1つ、女性活躍推進フォーラムの内容等を検討し、東京、福岡の2か所での開催を確認した。東京では5月から来年1月にかけて5日、福岡では9月から12月にかけて3日開催する。

フォーラムの目的として、①テーマに沿って企画を練り上げ、その企画を持ち帰って自社の風土を変えていくという「風土形成の後押し」②役立つ資格の取得サポートや実例セミナーの聴講による「実務の後押し」③人脈ネットワークづくりを促進し相互に刺激を受けることでの「知の後押し」が挙げられている。これから両会場での参加者を募集するが、全日程を通して参加できることが条件の一

つとなっている。

昨年度の女性活躍推進フォーラムは、ホール企業を中心に女性正規社員19人（1社1人）が参加して、昨年9月から今年2月にかけて東京で3日開催された。5グループが企画を練り上げ、1グループが最優秀企画として表彰された。参加者たちは「業界のことを考えるきっかけになった」「自社に帰ってから、企画内容をどんどん取り入れて、より良い環境をつくっていききたい」「ふだんは男性の中で仕事しているので、同性同士で仕事をすると楽しさを味わえた」とそれぞれ感想を述べていた。

依存問題PT兼WG

4月12日
本部会議室
出席委員等8人 オブザーバー6人

「自己申告」さらに3店で「従業員用ポスター」を協議

遊技産業活性化委員会の依存（のめり込み）問題ワーキンググループ



（例）マルハンのホームページの表紙に、「自己申告プログラム」の掲示が紹介されている

（WG）を兼ねており、全日遊連、日電協、全商協、回胴遊商からもオブザーバーが出席した。

3月に入り自己申告プログラムの実施店が3店増え計12店になり、2店で申込者があったことが報告された。そのうちの一人は常連の年金生活女性で、依存度が強いので声をかけたところ、「楽しみなことから」と不満そうだったが、最後は快く納得して上限を決め遊技することになった。自己申告プログラムはお客様の自覚が基本なのでなかなか浸透しないが、さらに取り組みを強めることを確認した。

3月30日のリカバリーサポート・ネットワーク（RSN）理事会で、依存問題に関する従業員への呼びかけポスターが提案されたことについて協議され、「従業員の依存についてはガイドラインで指摘しているのに特に必要ないので」との意見もあったが「ホールにとつて大きな課題でもあるので制作

する意味がある」との意見が大勢を占めた。RSNと連絡を取りながら検討を進めることになった。

遊技機委員会

4月12日
マルハンアカデミー
出席26人

作業内容を最終確認

幕張の「フェスタ2016」

「ニコニコ超会議2016」（4月29、30日、千葉・幕張メッセ）に日遊協が出席するブース「超パチンコ&パチスロフェスタ2016」について、人員と役割分担、来場者アンケート、ブースのレイアウトなどの最終確認作業を行った。「ちよい



パチ」の今後のスケジュールについて進捗状況を共有した。4月1日に施行された製造業者遊技機流通健全化要綱の経過について情報共有した。

◀フェスタの最終確認作業を行った遊技機委員会（東京・上野、マルハンアカデミー）

社会貢献・環境対策委員会

4月22日
本部会議室
出席委員等13人

「プルーム・テック」を協議

臭いや副流煙出ない電子タバコ

5月13、14日の「日遊協共生の森・東松島」の実施内容を最終確認した。海岸防災林再生のための

林野庁「みどりのきずな再生プロジェクト」に応じた継続的な植林事業。今回の植栽地は宮城県東松島市浜市地区(同市大曲字新堀向国)の有林)で、予定地4・87ヘクタールのうち日遊協は0・49ヘクタールを担当し、クロマツ2500本を植える。

13日は下準備作業で、社会貢献・環境対策委員会、東北支部ボランティア隊、埼玉森林サポートクラブ計20人が参加する。本番の14日は役員2人(谷口久徳副会長・東北支部長、知念安正理事)、同委員会、北海道、東北、東京都・関東支部ボランティア隊、埼玉森林サポートクラブ等から計60人強の参加予定となっている。

また、昨年、同市矢本地区で行った植林に立ち枯れが散見されることから、日程の中に同地区で

のクロマツ500本の補植を入れている。

日本たばこ産業(JT)の電子たばこ「プルーム・テック」について協議した。「プルーム・テック」は燃焼に伴う煙の臭い・灰及び副流煙が発生しないため、できれば賞品化して普及させ、紙たばこの喫煙人口を減らしたいとしている。会議の前半、(株)ピュアダが「受動喫煙と分煙」、(株)ウエストエナジーソリューションが「新電力で経営改善&環境貢献」のテーマで、



プレゼンを聞く社会貢献・環境対策委員会

それぞれプレゼンを行った。

風宮法PT

4月20日
本部会議室
出席委員10人

「長時間」営業中に課題 「新流通」施行の現場報告

当面の課題として、4月1日に施行された遊技機流通関係規定(「製造業者遊技機流通健全化要綱」遊技機製造業者の業務委託に関する規程)に関し、ホール現場の対応状況、問題点などで意見交換した。設置確認、部品交換等は、規定のスタート直後は地域、企業

によって対応の差が見られたが、大きな混乱は報告されなかった。初期の対応の差も、今後改善され、足並みがそろってくると見られている。

一方で、①ホールの入れ替えが集中する日は設置確認の業者も多忙で、ホールによっては深夜作業に及んでしまう可能性がある ②部品交換の点検確認作業を営業中に業者が行っていると、遊技客から不信感を持たれる懸念があるの

広報調査委員会

4月19日
本部会議室
出席委員等11人

テーマ、回数など検討 「雑誌、WEBメディア交流会」

今期の事業となる「ファン雑誌・WEBメディア情報交換会」(2016年パチンコ・パチスロファンアンケート調査)について協議した。

「ファン雑誌・WEBメディア情報交換会」については、第2回会合(2月5日)までの結果をもとに、改めてテーマ、時期、回数などを

絞っていくこととなった。

ファンアンケート調査については、調査時のホール側の負担軽減や調査結果の公表の仕方などで意見が出された。ファンアンケート調査は日遊協会員企業のホール及び都遊協、九遊連の各青年部の協力のもと、全国規模で毎年行なわれている。調査はホールのお客様から従業員が聞き取る方法で、お客様の遊技動向、機械の評価、業界への要望等を分析し、今後のパチンコ・パチスロ業界のあり方を参考にしていく。